

メディカル♥キッズ 9月号

発行元：9月15日発行
青森県民医連・青森保健生協
看護学生委員会・看護学生ニュース

朝、晩ぐっと涼しくなってきましたね。体調を崩していませんか？
夜が長くなってきました、お月見や星空を眺めてみるのもいかがでしょうか？気持ちが落ち着き明日の活力になりますよ(*^_^*)

第25回 T6ENC ～看護学生と仲間たちのつどい～ が開催され職員・学生合わせて116名が参加しました。今年のテーマは「Hope～想いを力に」です。震災から3年たった今、自分たちの想いを少しでも力に繋げていけるようにとの願いを込めて学生実行委員が考えました。

T6は今年で25回目の開催になります。唯一中止したのは震災の年だけです。とても歴史のある看護学生の集いです。



《1日目》 学生企画・女将さんの講演・グループワーク

ホテル観洋の女将さんからの講演、語り部バスでの被災地めぐりを行い今後看護学生、看護師として目指していくことをグループで話しあいました。



感想⇒被災地の現状を肌で感じた。3年経っても復興が進んでいないため震災の記憶を忘れない、風化させないように自分たちが語り部になる。

専門職として責任ある行動をとる。相手を思い合う気持ちや被災された人の気持ちに寄り添うことのできる看護師になりたい。(病気で入院されている患者さんにも共通しますね)

被災された方からの復興は遅いけど風化は早い。大切な家や家財道具をがれきと呼ばないで被災物と呼んでほしいなどテレビでは伝わらない思いを知ることができました。



《2日目》 フィールドワーク・グループ発表

奥に見える海が、地震直後深さ20mの海底が見えるほど潮が引き、その後時速40キロの速さで津波が押し寄せてきました。道路より約20mの高台にある中学校の1階部分まで津波がきました。高台だからと安心し校庭で待機していた住民はつなみにのまれてしまった。校庭にはいまだに仮設住宅が立ち並んでいます。



<防災庁舎>

よくテレビでみかける建物です。報道では避難を呼びかける人だけがクローズアされていましたが実際はそこで働いている人みんなが最後まで避難せず建物の中に残っていました。

テレビから正確な情報が流れているとは限らない。自分の目でしっかり見て、聞いて情報をキャッチする力が必要になってきます。常にアンテナを高く!

《学生ポスター発表》



《夕食交流会》

交流会の企画、進行もすべて学生が企画しました。
 グループ全員がビンゴするまで挙げられないビンゴ大会は景品つきのことだったので、大変盛り上がりました。
 グループでの行動が多いので同じグループ内では交流を持つことができました。



夕食交流会では南三陸の海の幸が
 たくさんでした。
 とてもおいしかったです(*^_^*)



職員の出し物は着ぐるみを着てのモモクロでした~(^_^;)

《国試セミナー》

2月の国家試験を全員で突破できるように今年度はセミナーを4回予定しています。

第1回目は9月13日に行いました。参加者は青森・津軽あわせて29名。
 試験にむけてのガイダンスも行ってもらい試験に向かったの動機づけになりました。

みんな頑張れ~!! 応援してるよ~!!



【今後の日程】

奨学生会議 10月11日(土) 10時~ 協立クリニック4階会議室

医系の集い 11月29日(土)~30日(日) 岩木青少年スポーツセンター

国試セミナー 12月13日(土) 13:00~ 成人看護学 内定者対象